

## 平成30年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会議事録

1 日時：平成30年7月5日（木） 午前9時30分～午前11時50分

2 場所：千葉中央コミュニティセンター 3階 調停室

3 出席者：

(1) 委員

石井 慎一委員（部会長）、善積 康夫委員（副部会長）、観音寺 拓也委員、  
谷藤 千香委員、蒔田 鐵夫委員

(2) 事務局

(都市局)

峯村都市局次長

(都市総務課)

石川都市総務課長、福原課長補佐、土肥主査、野田主任主事

(緑政課)

石橋課長

(公園管理課)

佐藤課長、佐野課長補佐、住田主査、加藤主任技師、大貫主事

4 議題：

(1) 千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）の年度評価について

(2) 蘇我スポーツ公園スポーツ施設〔蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）、多目的広場（フクダ電子スクエア）、庭球場（フクダ電子ヒルスコート）、第1多目的グラウンド（フクダ電子フィールド）、第2多目的グラウンド（北）（フクダ電子グラウンド（北））、第2多目的グラウンド（南）（フクダ電子グラウンド（南））〕の年度評価について

5 議事の概要：

平成29年度指定管理者評価シート、平成29年度事業計画書、平成29年度事業報告書及び指定管理者財務諸表をもとに、都市局指定管理者選定評価委員会による評価を受け、当該指定管理者による施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、改善を要する点及び当該指定管理者の倒産、撤退等のリスクの把握について、都市局指定管理者選定評価委員会から意見を聴取した。

(1) 千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）の年度評価について

ア 指定管理者 株式会社千葉ロッテマリーンズ

イ 部会の意見

(ア) 指定管理者による自己評価、市による評価のとおり優れた管理運営が行われていると認められる。今後も継続して、さらに市民にとって、より良い施設となるよう管理運営を行っていただきたい。

(イ) アンケートでご意見のあったカップホルダー付きの座席の増設は、利用者満足度の向上につながることから、引き続き、市と十分協議した上で、増設を検討していただきたい。

(ウ) 受動喫煙に対する取組みなどたばこ対策に対する市の評価が高まっているなか、本施設においても、市としての方針等を指定管理者に伝え、それを踏まえた対応となるよう連携を図っていただきたい。

(2) 蘇我スポーツ公園スポーツ施設〔蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）、多目的広場（フクダ電子スクエア）、庭球場（フクダ電子ヒルスコート）、第1多目的グラウンド（フクダ電子フィールド）、第2多目的グラウンド（北）（フクダ電子グラウンド（北））、第2多目的グラウンド（南）（フクダ電子グラウンド（南））〕の年度評価について

ア 指定管理者 MMT共同事業体

イ 部会の意見

(ア) 指定管理者による自己評価、市による評価のとおり優れた管理運営が行われていると認められる。今後も継続して、さらに市民にとって、より良い施設となるよう管理運営を行っていただきたい。

(イ) 指定管理予定候補者選定時に成果指標及び数値目標（以下「成果指標等」という。）を設定していない施設については、前年度実績との比較による評価としているが、事前に設定した成果指標等に対する評価とは考え方が異なることから、これまでの実績等を勘案し、新たに成果指標等を設定されたい。

また、成果指標等を設定している施設についても、当初想定していなかった大型イベントの開催に伴い、利用者数では大幅に達成しているにも関わらず、稼働率では達成できていない状況が生じている。評価に当たっては、利用者数についてはイベントと通常のグラウンド利用を、稼働率については平日と土日や祝日等のいわゆる休日に分けた実績を用いるなど、より実態に即した評価となるよう検討されたい。

(ウ) 蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）は、一般の利用者にも貸出しをしているが、ジェフユナイテッド千葉のホームグラウンドとして、プロスポーツの興業が行われる施設である。その特性を踏まえ、一般の利用者と、広報等を含めたプロスポーツの興業に対する取組みとを分かりやすく分けて、評価できるように工夫されたい。

(エ) 第2多目的グラウンド（北）（南）（フクダ電子グラウンド（北）（南））は、その利用の大半を野球が占めており、その利用状況に応じて、マウンドを設置することは、利用者ニーズに応えることとなり、満足度向上につながることから、市と十分協議し、設置を検討していただきたい。

(オ) 蘇我スポーツ公園スポーツ施設は、複数の施設により構成されているが、全施設を対象としたアンケートのみを実施している。こうしたアンケートも必要であるが、それぞれの施設を対象としたアンケートも併せて実施されたい。

(カ) 平成29年4月に第2多目的グラウンド（南）（フクダ電子グラウンド（南））の供用が開始され、平成31年8月には円形野球場の供用開始が予定されているが、シャワー設備の数は、当初のままととなっている。満足度向上のため、利用者数や施設数を踏まえた対応を検討していただきたい。

## 6 会議経過：

○福原都市総務課長補佐 委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。只今より、平成30年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を開催いたします。

事務局をしております都市総務課課長補佐の福原でございます。どうぞよろしくお願いたします。

本日の会議でございますが、全ての委員の皆様にご出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第 10 条第 2 項の規定により、本会議は成立しております。

開会に当たりまして、都市局次長の峯村よりご挨拶申し上げます。

○峯村都市局次長 おはようございます。都市局次長の峯村でございます。

委員の皆様には、大変お忙しいところご出席をいただきましてありがとうございます。また、日ごろから、本市の都市行政を初め市政各般にわたりまして多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、都市局では、千葉マリスタジアムなど 39 の有料施設の管理運営に当たりまして、市民サービスの向上と管理経費の節減を図るため、指定管理者制度を導入しているところでございます。

本日開催するスポーツ部会におきましては、千葉マリスタジアムと蘇我スポーツ公園スポーツ施設の年度評価を実施し、管理運営のより一層の改善につなげていきたいと考えておりますので、委員の皆様にはそれぞれのお立場から忌憚のないご意見をお願いいたします。

千葉マリスタジアムですが、今シーズンから、来場者の皆様に、より迫力のある、魅力ある試合をお楽しみいただけるよう、人工芝とともに、夜間照明設備、LEDでございますが、を整備いたしました。リニューアルということでございます。

また、蘇我スポーツ公園におきましては、利用者や周辺住民の皆様から苦情のありました砂ぼこりについて、その対策としましてフクダ電子グラウンドの外野を芝生化いたしました。

なお、今年の年度評価から、平成 28 年度に非公募によりまして現指定管理者を選定いただきました第 2 多目的グラウンド（南）が追加されております。

両施設ともに、より一層の市民サービスの向上を図っていきたいと考えておりますので、本日も活発なご議論をいただけますようお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

○福原都市総務課長補佐 都市局次長につきましては、本日、所用のため、これもちまして退席させていただきます。

（峯村都市局次長退席）

○福原都市総務課長補佐 それでは、議事に入る前に、会議の公開及び議事録の作成についてご説明いたします。

お手元の資料 3 「千葉市都市局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」をご覧ください。

本日の会議は、1、会議の公開の取扱いの（1）により公開としております。

また、議事録につきましては、2、議事録の確定の（1）及び 3、部会の会議への準用により、事務局が案を作成し、皆様に内容を確認していただいた後、部会長の承認により確定させていただきます。

それでは、ここからは石井部会長に議事を進行していただきます。石井部会長、よろしくお願いたします。

○石井部会長 おはようございます。石井でございます。

それでは、私が議事進行をさせていただきますと思います。会議を円滑に進めて参りた

いと存じますので、よろしくお願いいたします。

初めに、議題（１）千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）の年度評価に入ります。

まず、資料 7-1 「平成 29 年度指定管理者年度評価シート」の 1、公の施設の基本情報から 7、総括（２）市による評価について、事務局よりご報告をお願いいたします。

○佐藤公園管理課長 公園管理課長の佐藤でございます。よろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

それでは、資料 7-1 「平成 29 年度指定管理者年度評価シート」でございます。

1 番の公の施設の基本情報としまして、施設名称はZOZOマリスタジアム。公共施設としての正式名称は千葉マリスタジアムでございます。

ビジョンは、プロ野球興行を初め、市・県民のスポーツ・レクリエーション活動や様々な文化・エンターテインメント活動が展開できる場を提供することで、本市が誇る大規模集客施設として機能するとともに、幕張新都心や本市全体のにぎわいづくりと魅力向上に寄与していく。

ミッションは 4 つございまして、まず 1 つ目は、プロ野球興行において選手が安全にプレーできる環境を整えるとともに、来場者が快適に観戦できる空間を提供すること。2 つ目は、市・県民にハイグレードで非日常的なスポーツ・レクリエーション活動の場を提供すること。3 つ目は、様々な文化・エンターテインメント活動が展開され、多くの来場者が楽しむことができる空間を提供すること。4 つ目は、幕張新都心のランドマークとして、市民に誇りを与えることでございます。

成果指標としまして、まず 1 番目に利用者数、来場者数、これの数値目標は年間 167 万 8,000 人でございます。もう一つは稼働率、この数値目標は 95.9%となっております。

次に、指定管理者の基本情報でございます。指定管理者名は株式会社千葉ロッテマリーンズ。指定期間は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日までの 5 年間となっております。管理運営費の財源は、利用料金収入（独立採算性）となっております。

3 番目の管理運営の成果・実績でございます。成果指標に係る数値目標の達成状況ですけれども、利用者数、来場者数につきましては、平成 29 年度実績は 198 万 1,392 人ということで、達成率は 118.1%でございます。稼働率は 86.30%で、達成率は 90.0%でございます。

次のページをご覧ください。4 番の収支状況です。

必須業務収支状況としまして、まず収入でございます。利用料金収入としまして 3 億 7,742 万 3,000 円でございます。計画と実績の差異の中で、利用料金収入で 2,742 万 3,000 円のプラスとなっております。これは計画に対しての実績が上回っているという部分でございます。この主な要因としましては、プロ野球の公式戦と、あとイベント収入増ということで、イベントの数が増えたことによる収入増でございます。

支出でございます。人件費、事務費、管理費、委託費、その他事業費、これらの合計で 7 億 352 万 6,000 円となっております。こちらの中で計画と実績の差異でございますが、人件費で 450 万 5,000 円、これは職員数の増ということでございます。あと管理費で、これは減額となっている部分が 1,073 万 1,000 円、これは主に電気代の単価減ということでございます。あと委託費で 1,251 万 9,000 円の減ということで、主な要因は、施設管理業務委託料の一部を振りかえたということの要因でございます。これはその他事業費に振りかえてございます。そして、その他事業費で 5,108 万 4,000 円、これが増となっております。その要因としましては、先ほどの振りかえ分プラス球場警備委託費、球場清掃費等が

増となっております。

次のページをご覧ください。自主事業の収支状況でございます。

まず収入です。自主事業収入としまして、実績は平成 29 年度 27 億 5,105 万 8,000 円となっております。支出です。こちらは人件費、事務費、使用料、事業費、これらの合計としまして 16 億 3,271 万 7,000 円となっております。

その下の収支状況でございます。

まず、必須業務としましての収支は 3 億 2,610 万 3,000 円の赤字となっております。その下の自主事業です。自主事業の収支は 11 億 1,834 万 1,000 円の黒字となっております。トータルしまして、収支は 7 億 9,223 万 8,000 円の黒字となっております。指定管理委託料がゼロ円ということで、利益の還元額はございません。この下の「利益還元の内容」と書かれてあるのは、その他の利益還元としてという部分で、またこれとは別の還元を行っている内容でございます。

まず、指定管理者負担の施設改修の実施ということで、各種座席改修、従業員控室の新設等を行ってございます。それからあと、プロ野球興行における招待企画の実施ということで、県内小学生を招待するというを行っております。

次に、5 番、管理運営状況の評価でございます。

(1) 管理運営による成果・実績、利用者数、来場者数 167 万 8,000 人の達成ということで、市の評価は B でございます。これは、達成率は 118.1% でございますので B 評価となっております。稼働率 95.9% の達成、これに関しては C ということで、達成率が 90% ということで C の評価になってございます。

次のページをご覧ください。管理運営の履行状況でございます。

まず、市民の平等利用の確保・施設の適正管理ということで、自己評価は C となっております。あと、3 番の施設の効用の発揮の中の (2) 利用者サービスの充実、これが A 評価としてございます。その他の項目は B 評価ということで評価してございます。

市の評価でございます。市の評価で B 評価については、2 番目の施設管理能力、(1) 人的組織体制の充実ということで、こちらを B としてございます。特記事項としましては、球団職員だけでなく、球場内で働く職員に対して各種講習に参加させ、球場全体で能力向上を図ったということで B 評価としております。

それから、3 番目の施設の効用の発揮の (3) 施設における事業の実施ということで、こちらも B 評価としてございます。特記事項としましては、プロ野球興行のほかにコンサートなどのイベントを複数回実施したことや、来場者に対しては、ほぼ毎試合後、グラウンドに入れるイベントを実施したということでございます。

その下、4 番のその他で、市内業者の育成、市内雇用への配慮、それから障害者雇用の確保、そういったものの評価が B としてございます。これは、雇用制度を変更し、現職員を有期雇用から無期雇用としたこと、また、新規採用においても無期雇用採用に変更していること。座席改修や子ども招待企画、小学校訪問など利益還元についても評価できるということで、B 評価としてございます。

その他項目は C 評価ということで、おおむね標準どおりということになっております。

次のページをご覧ください。市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応としまして、意見の対象年度は平成 28 年度でございます。

2 番目の項目で、「労使協定の範囲を超える時間外労働が確認されており、労働関係法令を遵守するよう徹底されたい」に対しては、現在、雇用形態見直しと、球団全社員のフレックス勤務化を実施することで、労使協定内の時間外労働解消に努めております。

その下の「アンケートについては、収集方法や内容、対象者などについて市とも連携しながらより一層の工夫をお願いしたい」に対しましては、球場内の案内告知等を行い、回答者数の増加に努めると同時に、内容については千葉市と協議しながら進めていくということでございます。

その下、「アンケートで得られたカップホルダー、トイレ及び喫煙所等の設備に関する意見・苦情等については、市と十分協議した上で、対策を検討していただきたい」に対しましては、指定管理者としては、カップホルダーつき座席の増設やトイレ清掃強化を行っています。中期計画や平成 29 年度実施の劣化度結果を踏まえ、引き続き千葉市と協議の上、大規模修繕の中で着手していきまうということになっております。

次のページをご覧ください。6 番目の利用者ニーズ・満足度等の把握でございます。

まず、指定管理者が行ったアンケート調査でございます。これは 2 種類ありまして、実施内容のところに書いてございます。利用者アンケートということで、こちらは 73 団体に対して行っております。来場者WEBアンケートに関しましては、3,494 人からいただいております。

質問項目としましては、来場者WEBアンケートですけれども、主に接客・サービスについてということで 1 回目行っております。2 回目に関しましては、案内ブース、外周遊具、ヒストリー展示コーナーと個別の項目について聞いております。

結果でございます。利用者アンケートでございます。この中で、グラウンドコンディションについて尋ねておる項目については、おおむね 9 割の方から良好な状況であると回答をいただいております。利用時間に関しましては、8 割の方から妥当であろうという回答をいただいております。利用料金につきましては、約 6 割の方から妥当であると、あと 3 割の方から安いのではないかという意見をいただいております。

続きまして、来場者WEBアンケートの 1 回目でございます。この中で、おもてなし（接客）に関する項目で、「大変満足」「満足」「普通」という項目で、かなり高い割合で回答をいただいております。「大変満足」は 15.8%、「満足」46.1%、「普通」が 31.8%という状況でございます。

来場者WEBアンケートの 2 回目でございます。こちらの中で、案内ブースについて、「知っている」「知らない」という項目で、「知っている」が 59.2%、「知らない」が 40.8%ということで、まだ知らない方が 4 割いらっしゃるといってございます。

案内ブースの利用について、「利用した」が 20.5%、「利用しない」が 79.5%となっております。

利用用途としまして、多いものが入場ゲート・施設・場所について尋ねるものが 31.1%、イベント情報についてが 30.1%となっております。

その他は、キッズアトラクション、これが「利用した」「利用しない」という部分で、「利用しない」という方が 87.9%となっております。アトラクションの年齢制限について、これが妥当かどうかという中で、「適当である」という回答が 87.7%と大半を占めてございます。

それからヒストリー展示コーナー、こちらは知っている方が 79.0%ということで、展示内容でよいと思うものの主なものは、現役選手サインパネル 29.7%、歴代選手パネル 35.4%、それから本拠地球場の歴史 25.7%となっております。展示内容については、「今のままで良い」が 23.7%、「通行人が気になりゆっくり見られない」というご意見が 29.6%、それから「歴代選手のグッズを展示してほしい」が 18.7%、これらが主な意見となっております。

その下の市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応でございます。

主な意見としましては、喫煙所の縮小及び分煙化でございます。こちらの対応が、分煙ルールを徹底すると同時に、行政の方向性に準じて対応するという事、あと、たばこ自販機を1台撤去してございます。

次に、バリアフリー化、エレベーターの増設というご意見に対して、大規模な改修工事となるため、今後市と協議していくということでございます。

次に、飲食業者から上水道のさび水が出ているという指摘がございまして、これに対しては、フィルター交換等の応急措置と、協議して早急なインフラ改修を行っていくということでございます。

次のページをご覧ください。7番の総括でございます。

指定管理者による自己評価では、総括評価としましてはBということで、所見としましては、施設面においては、夜間照明更新工事（LED化）と人工芝張りかえ工事を実施した。また、サービス面におきましては、当年からは、千葉市を初めとする県下10都市とフレンドシップシティ協定を結び、「All for CHIBA」の名のもと、スポーツを通じての地域振興・地域貢献に取り組み、青少年の健全な育成、市民の健康増進・豊かな社会生活の実現を目的としている各都市の特徴を生かした企画を実施しました。これ以外にも新規コンサートの誘致など様々な取り組みの結果、当年は198万人、前年比118.1%の来場者となりました。一方、職員の労働環境面においては、新規採用者増員や全社員のフレックス化等を行うことで、着実に改善に進んでいますということで、B評価ということでございます。

市による評価でございます。こちらもBということで、市が求める水準等を上回るすぐれた管理運営が行われていると評価しています。球団職員だけでなく、球場内で働く従業員を各種講習に参加させることにより、球場全体で能力向上を図っていること。自主事業等においても、新規イベント等を開催し、収入が増えているとともに、来場者数も増加していること。これらをもちましてB評価とさせていただきます。

以上です。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の事務局のご報告に対しましてご質問等ございましたら、委員の皆様お願いいたします。どうぞ、谷藤委員。

○谷藤委員 資料のことで、今までもあったのですが、今回、気になったのは、資料7-1の年度評価シートの4ページの(3)管理運営の履行状況の表になりますけれども、ここでの特記事項は、指定管理者が自己評価したことの特記事項ではなく、市のコメントという理解で良かったでしょうか。両方入っている感じもしますけれども、両方含まれているのでしょうか。

○佐藤公園管理課長 両方入ってございます。

○谷藤委員 わかりました。

○石井部会長 ありがとうございます。観音寺委員、どうぞ。

○観音寺委員 まず、資料7-1の1ページの3の管理運営の成果・実績のところ、平成29年度実績198万1,392人となっていますが、これは利用者と来場者の合計だと思われそうですが、内訳はわかりますか。

○公園管理課職員 ほぼほぼ来場者です。プロ野球の観客動員数が158万9,680人、160万人弱ですので、それプラス、先ほど説明のありましたイベント系、例えばサマーライブですとか、新しいイベントですとEDC Japan とかというイベント、ライブのようなものな

んですけれども、そういったものがございますので、それを加味しますと、ほぼほぼプロ野球とイベントの来場者でございます。

○観音寺委員 わかりました。ありがとうございます。

次に、4ページの管理運営の履行状況の3 施設の効果の発揮、(2)利用者サービスの充実で、自己評価A、市の評価Cとなっており、ここが気になったのですが、この大きな違いはどこから出ているのですか。

○佐藤公園管理課長 自己評価は、計算としては、前年比 118.1%というかなり利用者数が増えたということで、その増加分を結果として評価という、その分をかなり高く評価しておるのですけれども、この評価項目の趣旨としましては、ここではなくて、利用者にいかによりサービスを充実させたかという部分で通常評価していきますと、市としてはCの標準ということで評価となっております。

○観音寺委員 先ほどの谷藤委員の意見ではないのですけれども、特記事項がどうもよくわからなくて、この差が何でこうなのかということが特記事項ではないのかなという気がします。書くのであれば、自己評価Aの理由がこう、市の評価Cの理由はこうというのが特記事項で書かれれば良いと思うのですけれども、これだとちょっとわからないのですが。

○佐藤公園管理課長 改善させていただきます。

○石井部会長 今の1点、前年比 118.1%と大きく伸長したとあるのですが、1ページの管理運営の成果・実績を見ると、達成率が 118.1%となっていて、達成率は数値目標に対する率ということではないのですか。

○佐藤公園管理課長 そうです、数値目標に対する達成率になります。

○石井部会長 達成率と前年比が全く同じというのがちょっと不思議なのですが、前年度は167万8,000人ということだったのですか。違いますよね。その後の収支状況は、平成28年度の数字も参考として載っているのでもわかりやすいのですけれども。

○佐藤公園管理課長 私の記憶上では、ちょっと違った数字になると思いますので、前年比というのは誤りかと思います。

(確認結果)

4ページの(3)管理運営の履行状況の3 施設の効用の発揮(2)利用者サービスの充実の特記事項欄に「・利用者には、招待企画をはじめとする様々なコンテンツ・サービスを行い、その結果来場者数は前年比 118.1%と大きく伸長した。」とありましたが、前年比ではなく、達成率の誤りでした。

○石井部会長 1ページのところも、平成28年度の実績も載っていると、比較しやすいのかなとは思いますが。観音寺委員、続けてください。

○観音寺委員 6ページの(2)、下の部分になりますが、喫煙所の縮小及び分煙化の右側の「分煙ルールを徹底すると同時に、行政の方向性に準じて対応する」というところで、これは去年もたばこの話を指摘した覚えがあって、千葉市の姿勢としては、飲食店に対して完全禁煙という条例を出すということも新聞等で拝見しております。マリンスタージアムについても公共施設という位置付けがあって、完全に屋内の施設ではないと思うのですが、この辺について、行政の方向性に準ずると書かれている、行政はどういう方向性をお持ちなのか。この場でまだわからないのかもしれませんが、お聞かせいただけますか。

○佐藤公園管理課長 少なくとも、昨年度の段ではまだ固まっていない部分がございます、最近になりまして市長コメント等で意見を、新聞報道等あったかと思うのですけれども、まだ確定はしていないものがございます。

○観音寺委員 わかりました。



- 石井部会長 善積委員、どうぞ。
- 善積委員 6ページの、利用者アンケートと来場者WEBアンケートの結果が書かれている部分ですけれども、アンケート結果を受けての指定管理者の分析に当たる資料が、利用者アンケートにはあるのですが、来場者WEBアンケートについては見つけることはできませんでした。来場者WEBアンケートの結果を受けて、指定管理者が検討しているかどうか、コメントしているという資料というのは、特にはないのですか。
- 石井部会長 資料7-6の49ページ以下に、モニタリングに関する事項で施設利用者アンケート実施状況がありますが、それしかこの資料にはないということでしょうか。
- 公園管理課職員 事業報告書、資料7-6ですね、毎年度指定管理者さんから出している事業報告書の様式については、そちらしか入っておりませんので、この資料の中に今入っていないと。WEBアンケートの結果自体は、別にいただいていますのでご提示することも可能です、今思えば、つけるということもできたのかもしれないのですけれども。
- 観音寺委員 それに付随しまして、資料7-5の49ページに、今回のお客様アンケートのWEBアンケートフォーム例があるのですが、これに出ている設問で、「座席について」というのが、印刷が不鮮明でわかりづらいのですけれども、「外部座席についての感想をお聞かせください」とあります。これは非常に重要だなと思って、私も同じウェブで探したのですけれどもちょっと見つからなかったのですが、この結果と、資料7-1の6ページにある来場者WEBアンケートの結果の設問が、どうもリンクしなくて、外部座席についての回答というのはこの資料には出ていないのですよね、私が見つけきれないだけかもしれないかもしれませんが。

このあたりすごく大事で、最初に来場者と利用者の割合を聞いたのもそこでして、来場者が大半を占めているということであれば、その意見は非常に重要な中で、多分、マリンスタージアムに来場する方は多くの時間を座席で過ごすと思うのです、野球を見ているわけですから。そう考えると、そこの満足度というか、感想、ご意見というのが一番重要と思うので、ぜひこのデータをいただければと思います。

- 石井部会長 同じくアンケートに関連しての質問ですが、利用者アンケートでグラウンドコンディションが「悪い」が1.5%と書いてありました。それが何かとちょっと気にはなったのですが、後ろの50ページを見ると、コンディションについて、66人回答しているうちの1人が悪いと、10月につけていたというだけで、悪いという内容がどうだったのかということころは、これはわからないのでしょうか。

そういった悪い評価について、どこがということがくみ上げられるのであれば直しようもあるかと思うのですけれども、ただ悪いとだけ回答されても、どこだったのか、じゃどうすればいいのかというのが出てこなくなっちゃうのかなとちょっと思ったのですが、中身まではわかりませんよね。

- 佐藤公園管理課長 未確認ですので、確認してその結果をご報告します。

(確認結果)

WEBアンケート結果については、別途提供するとともに、次年度以降は、年度報告書に掲載するよう指定管理者へ申し伝えます。

また、確認しましたWEBアンケートの概要は以下のとおりとなっております。

- ・ 当該アンケートの「場内・外周を問わず、今後スタジアムにあったら良いと思う『施設』『サービス』があればご記入ください。」という設問において、「外野席のドリンクホルダー」の記載がありました。

- ・ グラウンドコンディションが「悪い」とした 1.5%の内容ですが、10 月にご利用いただいたお客様より、雨中の利用だったため、いただいたご意見になります。
- 石井部会長 その人が感じて、一般の人からすれば問題ないという状況でもこう言っているだけなのか、そうじゃないのかで、対応が変わってくるかと思うんです。  
それと、6 ページのシートで、利用者アンケートが何人だったのかというところが数字がなかったので、1.5%が何人なのかというのを後ろを見ないとわからなかったのですが、そこまで書いてくれていると親切かなと思いました。回答者数というところで。  
それと、これもわからないのかもしれませんが、同じくWEBアンケート1 回目の、昨年度に比べてクルーのおもてなし（接客）満足度というところで、「悪くなった」4.9%、「大変悪くなった」0.6%、これはどういうところがというのはわかるのでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 これもちよと確認させていただきます。人対人ですので、必ず苦情はある一定割合はあると思いますけれども、確認させていただきます。  
(確認結果)  
確認しましたWEBアンケートの概要は以下のとおりとなっております。  
  - ・ 当該アンケートの「『4：悪くなった』または『5：大変悪くなった』とお答えの方にお伺いします。具体的にはどのようなところが悪くなったと感じられましたか？（複数回答可）」という設問において、「クルーの挨拶」19 人（15.0%）、「クルーの笑顔」15 人（11.8%）、「クルーの言葉づかい」23 人（18.1%）、「クルーの身だしなみ（清潔感）」8 人（6.3%）、「球場外周の美化」13 人（10.2%）、「球場内（コンコース通路）の美化」10 人（7.9%）、「球場内（スタンド座席周辺）の美化」12 人（9.4%）、「その他」27 人（21.3%）との記載がありました。
- 石井部会長 それから、こういったアンケートそのものは、千葉市としては独自には行ってはいないということでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 はい。
- 谷藤委員 アンケートとは別のことも良いですか。5 ページの委員会意見を踏まえた対応で、昨年度のこの部会が出た意見をお伝えして、その対応だと思うのですが、この対応・改善の内容が、実際に何か月間か、昨年度1 年どうだったのかというところを知りたいのですが、文章的には、それではこれからこうしますよ、こういう方向で頑張りますという印象なんですけれども、1 年経ってこの状態なののでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 丸1 年までは満たない部分で、これが正直な状況というところなんですけれども、一つは、長期修繕とかそういったものにかかわる部分は、時間がかかるという部分であります。その他については、雇用関係は一部既に改善ということになってございまして、アンケートについては、改善の指標として明確なものがない中で、前回より市と協議して内容は改善の方向になっております。
- 石井部会長 ここに書かれている対応・改善の内容というのは、千葉市で書いているものなのか、それとも指定管理者で、こういう意見が出たということでしたよということで報告、記載しているものなのかという点はどのようなのでしょうか。ここも混在してしまっているのでしょうか。指定管理者のですか。
- 公園管理課職員 はい。
- 石井部会長 そうすると、その時間外労働の点について、ここだけの記載を見ると、まだ改善していないのかというように読めるのですが、資料7-2 と7-3 を実際に見ると、前半のときには「×」が確認結果でついていて、まだなんだなとありますが、資料7-3

を見ると「○」がついて改善されているということがわかるのですが、これは実際に改善されたということでしょうか。

○佐藤公園管理課長 そうです。

○石井部会長 改善された結果を受けても、まだ対応・改善の内容というところで、労使協定内の時間外労働解消に努めていくというのは、これは実はまだ解消されていないということになってしまうのですか、そうではないのですか。

○佐藤公園管理課長 年度全般を通して言いますと、前半はちょっと課題があったけれども、後半は解消できた。それが定常的な状態で今後もずっと続くように努めていくということで書かれています。

○石井部会長 今の点、以前は労使協定の範囲を超えてまで時間外労働がありましたよと、現在それは解消されて、今後は労使協定内の時間外労働もさらに解消に努めていきたいという趣旨で書いてあるのでしょうか。

○佐藤公園管理課長 申しわけございません、そのとおりでございます。

○石井部会長 わかりました。

そのほかにご質問はございますでしょうか。どうぞ、谷藤委員。

○谷藤委員 3ページの真ん中の(3)収支状況になりますが、必須の業務と自主事業と分けたものだと思うんですけども、スタジアムの運営として絶対やっておいてねというところは、赤字ながら頑張ったけれども、自主事業でその分盛り返したということになっていると思うのですが、施設利用料はかからない中で、自主事業はこれだけプラスになっているというところは、市としてはどんな評価というか、どういうご意見なのでしょうか。

○佐藤公園管理課長 プロ野球興行ということで、非常に特殊な施設の運用形態ですので、当初、市と指定管理のほうと、指定管理料を通常ですと委託料として市が払うのですけれども、それは自主的な運営の中で収益がかなり見込めるということで、市としては、指定管理委託料は払わないという形でこの指定管理の制度を運用しております。

そのため、通常ですと、必須業務で通常かかる部分というのは、市で指定管理料として払われたりするものですけれども、それを大きく上回る収益があると。収益の中身としましては通常の利用者の払うチケット代とかそういった利用料金のほかに、プロ野球に伴って、やはり様々な広告を出したりとか、売店で飲食を売ったりとか、そういった部分でかなり大きな収益を上げているということで、そこらの自主的な努力でもって運営して、さらに収益を上げているということで、市としてはその点は評価しております。

○石井部会長 今の収支状況のところの利益還元の内容の記載ですけれども、指定管理者負担の施設改修の実施とあります。これは、その下に書かれている各種座席改修と従業員控室の新設のことを指しているのか、それももちろん含めてそのほかにもあるのか、他にもあるのだとしたら、それは具体的にどんなところでどのぐらいの費用をかけてやっているのかということ、わかりますでしょうか。

○佐藤公園管理課長 こちらは、この表に対する記述として適当でない部分なんですけれども、この利益の還元額と還元内容というのはゼロで、なしということになるんですけれども、ここに書いたのは、それ以外の、その他の利益還元として、球団で自主的にこういうことをやっていたらという部分でございます。

○石井部会長 それで、やっていた施設改修の実施というのが、2つ具体的な項目が書かれているのですけれども、それだけなのか、その他にもあるのか。

○公園管理課職員 必須業務の中で大きなものでいきますと、年間約2,500万円の修繕、大なり小なり、細々したものに、30年ほどスタジアムはたちますので、そういったものは

やっただいております。ですので、座席改修 1,500 万円、あと控室新設 1 億 2,700 万円のほかに、大きなものと、修繕で 2,500 万円ご負担いただいで、改修、修繕に努めていただいでいるところございませう。そこは建物の管理の中のものでございませう、必須業務、利益の還元というのかどうか、そこはありますけれども、そういった形でのことはしていただいでおります。

○石井部会長 どうぞ。

○観音寺委員 一般的に指定管理に対して、大規模修繕というか、金額が大きいものは、指定管理者負担ではなくて行政負担というのが一般的だと思ひますけれども、従業員控室新設 1 億 2,700 万円というものは、そこには該当しないということですか。従業員の話なのでこちらでやっただいといふことなんでしょうか。

○佐藤公園管理課長 そうですね、球団運営として、プロ野球興行に必要なものとか、そういったものに関しては向こうでやっただいといふことで。

○観音寺委員 それは金額に関係なくですか。

○佐藤公園管理課長 お願いしてあります。

○谷藤委員 かなり素朴な疑問なわけですが、スタジアムとか云々という以外に会議室があったと思ひますが、利用状況を見ると、諸室というところで、ちょっと見学をいただいたのによく記憶が曖昧で申しわけないわけですが、あそこは、一般の人に、利用料金があるので貸し出しているわけですね。利用状況を見ると、ほぼほぼマリーンズの方が使っていて、一般の人は使ひづらひのわけでしょうか。ハードとして、それとも時間帯として、何か他に特別なといふのが、ちょっと気になったわけですが、独占されているのではないわけですね。

○佐野公園管理課長補佐 基本的にホームページでは、利用料金なんか公表して使えるようにはしているわけですが、実際には使ひたいといふことでの申請が少ないといふか。

○谷藤委員 余り使うものでもないわけですか。

○佐藤公園管理課長 通常、野球の試合をやるにおいては、必要最小限の施設があれば、一般の利用は済んでしまひますので、お金を払ってまでも余分な施設まで借りてといふことにはなっていないといふことだと思ひます。

○石井部会長 ほかに何かございませうでしょうか。

ありがとうございます。それでは、1、公の施設の基本情報から7、総括(2)市による評価については、以上で終わらせていただひませう。

続きまして、7、総括(3)都市局指定管理者選定評価委員会の意見についてですが、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見または助言など、委員の皆様よろしくお願ひいたします。

谷藤委員、どうぞ。

○谷藤委員 このシートでいふと4ページの、自己評価と市の評価が違ふといふところは、やはりどうしても気になりますので、市の意向といふところをきちんと認識して行っただいといふことと、もう一つ、5ページに関わるところですが、その対応をちょっとスピーディーに行っただいといふふうにお願ひします。

○石井部会長 蒔田委員、いかがでしょうか。

○蒔田委員 特に指摘事項はないわけですが、マリンスターそのものが独立採算制でやっただいといふと、施設は千葉市が準備しました、だからきれいに使っただいといふような趣旨ですね。だから、人の雇ひ方とか施設の使ひ方といふのは、千葉ロッテマリーンズに一任という格好で私はこれを見ていたわけ、余り強い意見はないです。

だから、野球興業で利益を上げてくださると、なおかつ、あわせて千葉市の施設ですので、千葉市のイベントにも協力して下さいという意味からいうと、よくやっているなどというふうに評価を、資料を全部見させていただいたのですけれども。

ただ、再三の指摘がありますように、先ほどから4ページ、4ページと出ていますが、4ページ、5ページの特記事項の書き方、これをどちらが言っているのかということがわかるようにしていただければと思います。

それから、7ページのところに、LED化しましたと、これは千葉市がやってくださいとお願いしたのか、それともマリーンズがLED化しますとやったのか、どちらなのでしょう。

○佐藤公園管理課長　ここら辺は、もう照明が老朽化している中でかえざるを得ないと、それで千葉市で支出しまして、ただプロ野球興行のスケジュールの調整もありますので、マリーンズで工事を発注して、千葉市が負担金を支払うという形で、この2つの工事は進めました。

○蒔田委員　その結果、電気料金が随分安くなったのかどうか。それはわからない。

○佐藤公園管理課長　電気料の場合、ちょっとまた別の要素で下がっております。

○石井部会長　観音寺委員。

○観音寺委員　私も蒔田委員と同様、非常にマリーンズさんが一生懸命やっつけらっしゃるなという印象と、お客様が増えているという一つの大きな指標がありますので、引き続き現状の取組みをしていただきたいというのが意見です。

これは市に対してでもありますが、WEBアンケートの結果などが無いので何とも言えないのですけれども、カップホルダー付きの座席を求める意見がどうなのか、以前は多かった思いがありますので、それについては引き続き増設してほしい。早期に全席にカップホルダーを付けるということが物すごくお金がかかる気はしないので、ぜひ対応していただきたいと考えます。

それと、禁煙、分煙の動向に関しても、早急に千葉市の方針を固めた上で、その対応を進めてもらいたいと思います。千葉市が、禁煙に対して意識が高いという評価がこれだけ高まっている中で、マリンスタージアムに行ったらすばすば吸っている、煙たいという話になってしまうと、千葉市としても非常にマイナスになるかなという気がするので、その対応は早期にすべきというふうに考えます。以上です。

○石井部会長　ありがとうございます。善積委員、いかがでしょうか。

○善積委員　特にありません。

○石井部会長　では、私からも少しだけ意見を述べさせていただきたいと思います。

今まで委員の皆様から出ているところでもあるのですが、千葉市が評価している部分と、それと指定管理者の自己評価で差が出てきてしまっているところ、指定管理者としてはできている、きちんとやっている、必要以上にやっている、水準以上にやっていると思っけていても、千葉市として見ればそこまでではないよというような部分などについて、ずれが出ると余りよろしくはないのかなと。

なので、千葉市の意向が確実に伝わるようにして、こういう点でやってほしいんだと。先ほどのたばこの話、喫煙の話もそうですけれども、千葉市としての方向性、指標等を指定管理者に確実に伝わるように、それを受けて指定管理者でも、今後さらにより適切な管理等を行っていただければと思います。

管理運營業務も自主事業も適正な業務は行われていますし、望んでいる水準までは達しているとは思っていますので、さらにそれをよいもの、千葉市の意向が反映されるようにして

いただければと思います。

では、「7、総括（3）都市局指定管理者選定評価委員会の意見」ですが、これまでにいただいた委員の皆様のご意見、これも含めて部会の意見といたします。

それから、評価シート等の記載についても、今日の委員会で出ました意見を踏まえて、市とご検討をいただければと思います。これは千葉市に対してですけれども。

最後に、資料7-9、7-10の指定管理者財務諸表から見る当該指定管理者の財務状況についてですが、善積委員、ご質問、ご意見等よろしくお願いいたします。

○善積委員 それでは、資料7-9、7-10にあります財務諸表を見て感じたことを少し述べさせていただきます。

まず、貸借対照表から財務内容の状態を見ますと、平成29年度である当年度は、前年度に比べて負債の総額が減少していることから、財務内容を見るときの1つの指標である自己資本比率などが若干改善しています。とはいいましても、資金調達のほとんどを負債に頼っている状態に大きな変化はないことから、財務の安定性には問題があるのかなと感じました。

次に、損益計算書で本業の業績を営業損益の段階で見ますと、前年度は赤字、すなわち営業損失でしたが、当年度は黒字となり改善傾向が見られます。しかしながら、最終損益である当期純損益は前年度に引き続き赤字、すなわち当期純損失になっており、それが結果として純資産、利益剰余金の減少をもたらし、財務内容が改善しないということにつながっています。

今後は、営業損益の段階での利益を増やすことを通して最終損益の赤字解消に取り組むとともに、あわせて財務内容を改善していくということが課題になると思います。

以上です。

○石井部会長 ありがとうございます。

この点について、何かほかの委員の方でご質問とかもしある方がいらっしゃれば、お願いいたします。

特にないようですので、ありがとうございました。

以上で、議題（1）千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）の年度評価を終わります。

それでは、続きまして議題（2）蘇我スポーツ公園スポーツ施設の年度評価に入ります。

まず、資料8-1及び8-7「平成29年度指定管理者年度評価シート」、1、公の施設の基本情報から7、総括（2）市による評価について、事務局よりご報告をお願いいたします。

○佐藤公園管理課長 それでは、資料8-1から説明させていただきます。

こちらは、1番、公の施設の基本情報としまして、施設名称ですけれども、千葉市蘇我スポーツ公園スポーツ施設となっております。

ビジョンですが、市におけるスポーツ・レクリエーションの振興を図り、市民の健康、体力づくりに寄与するとともに、地域コミュニティとしての交流機能を発揮するための拠点となる施設を目指す。もう一つ、蘇我スポーツ公園全体が防災拠点として位置付けられていることから、災害時の防災拠点となる施設を目指すということでございます。

ミッションですが、4点ございます。1つ目は、市民の誰もが、日常的に利用でき、それぞれの目的に応じたスポーツを楽しめる場を提供する。2つ目に、日ごろ、スポーツ活動の機会に恵まれない市民やスポーツ初心者、レベルアップを志向する市民に対して、各種スポーツ教室等の場を提供する。3つ目は、地域や区のスポーツ大会やイベントの開催

場所を提供する。4つ目に、災害時に各施設の機能が発揮できるよう管理を実施するとともに、協力体制を構築するでございます。

成果指標でございます。こちらは、利用者数、稼働率、選定時は未設定ということでございます。

次に、2番の指定管理者の基本情報としまして、指定管理者名はMMT共同事業体でございます。その構成は以下のとおりとなっております。指定期間は、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間でございます。

次に、3番、管理運営の成果・実績でございます。

成果指標に係る数値目標の達成状況でございます。利用者数に関しましては、29年度実績71万2,865人の利用者数がございました。稼働率ですけれども、ご覧のとおりとなっております。数値目標については、こちらは定めておりませんので、達成率もございません。

次のページをご覧ください。4番の収支状況でございます。

必須業収支状況としまして、収入でございます。指定管理料、利用料金収入、この合計が2億6,276万7,000円でございます。計画から実績への主な差異でございますが、利用料金収入で、計画に対して実績が2,061万4,000円上回っております。こちらは、28年度の途中で、フクダ電子フィールドを土のグラウンドから人工芝のグラウンドにしたことにより稼働率が大幅に増加したということで、この金額の上積みがございます。

次の支出でございます。人件費、事務費・管理費、委託費、これらの合計としまして2億7,533万円でございます。こちらでの計画から実績との差異でございますが、事務費・管理費で1,605万4,000円、これが減となっております。こちらは一部業務を委託費へ変更したことによる減でございます。逆に、その下の委託費で3,766万8,000円の増となっております。こちらは、一部業務を振りかえたことプラス、グラウンドの整備、清掃等の回数が増加したことによる増額でございます。

次のページをご覧ください。自主事業の収支状況でございます。

収入で、自主事業収入としまして29年度1億3,089万円でございます。支出に関しましては、人件費、事務費、使用料、事業費、その合計が8,201万3,000円となっております。

収支の状況です。必須業務の収支は1,256万3,000円の赤字、自主事業の収支が4,887万7,000円の黒字ということで、総収入、総支出での収支に関しましては3,631万4,000円の黒字となっております。

利益の還元額に関しましては、総収入の10%に満たないためゼロ円となっております。

次のページをご覧ください。5番の管理運営状況の評価でございます。

管理運営による成果・実績で、利用者数に関しましては、市の評価としましてはBとしてございます。こちらは数値目標を定めてございません関係で、前年との比較としてパーセンテージを算出しまして評価してございます。前年が64万3,631人の利用者に対して、29年度71万2,865人ということで、111%の増となっておりますので、B評価となっております。

稼働率でございますが、こちらはCの評価となっております。こちらに関しても、前年との比較で99%の率となっておりますので、こちらはCの評価となっております。

その下の市の施設管理経費縮減への寄与ということで、こちらはC評価となっております。提案と同程度の縮減への寄与ということでございます。

次に、管理運営の履行状況でございます。

自己評価に関しましては、3の(2)以外の項目につきまして、全て自己評価はB評価となっております。

市の評価でございます。こちらに関しましては、B評価となっておりますが、2番の施設管理能力のうち(1)人的組織体制の充実ということで、適正な人員配置及び専門職員の配置による業務運営が図れたということ。それから、3番の施設の効用の発揮の(1)幅広い施設利用の確保ということで、B評価としてございます。65歳以上の団体の利用料金の50%減免を行うほか、利用促進や利用時間外の貸し出し等を行ったということでございます。3番の(2)の利用者サービスの充実の項目で、これもB評価としてございます。日よけテント、簡易椅子の貸し出しを実施、アンケート等により利用者意見を集め、改善に努めたという部分を評価してございます。

次のページをご覧ください。6番の利用者ニーズ・満足度等の把握で、指定管理者が行ったアンケート調査でございます。

実施内容としましては、フクダ電子アリーナに関するアンケートを合計4回行いまして、1,568件の回答がございました。その他スポーツ施設、フクダ電子アリーナ以外のスポーツ施設に関しましては、こちらもアンケート用紙を管理棟に置きまして、回収ボックスにて回収してございます。494件の回答を得ております。

結果としましては、フクダ電子アリーナに関しましては、トイレの数や設備への要望、駐車場の増加、分煙等の意見があったこと、あと、駐車場から出るのに時間がかかるという意見が多かったということです。さらに、Jリーグ観戦者からは、Jリーグの試合時に再入場を可能とするよう、そういう希望が多く出されております。あと、freeWi-Fiに関する要望が徐々に増加してきております。

その他のスポーツ施設に関しましては、職員の接客、施設の清掃、利用料金の設定、それから諸室やフィールドの使いやすさに関しましては、おおむね良好な評価を得てございます。その中で、フクダ電子スクエアの人工芝について、少し老朽化が進んでいる関係で張りかえ、あと、このままでいくと少しけが人が出てしまうのではないかとということで、そういった指摘がございます。それから、管理棟の狭さに関する意見、こちらに関しましては、大人の利用者が増加傾向ということで、シャワー室を少し増やしてほしいという要望も増えてございます。それから、現在は改善しておりますけれども、この時点で、強風による砂ぼこりについての意見が出ておりました。その他、雨、風、日よけに関する要望が多数ございました。

次のページをご覧ください。市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情とその対応でございます。

まず、フクダ電子ヒルスコート、これはテニスコートですけれども、これの人工芝の張りかえということで、こちらは平成30年度、今年度に傷んだ箇所の部分張りかえを実施しております。日よけの設置でございます。こちらに関しましては、平成29年8月より有料貸し出しテントを用意しまして、スクエア管理棟、ヒルスコート管理棟に置いてございます。それから、フクダ電子グラウンドの砂ぼこり、これにつきましては、まずは暫定措置としまして、強風時に散水を強化するというので対策をとった上に、平成30年3月末から4月末にかけての整備で、外野の天然芝を張る工事を実施しまして、現在は、まだ芝としては養生中なんですけれども、砂ぼこりは大幅な減少となっております。

7番の総括で、指定管理者による自己評価はB評価となっております。こちらは、特別提案として出していた大型コンサートの実施が大きな成果を上げているということで、



主にこの点を大きく評価した上で、B評価となっております。

市による評価に関しましては、こちらもB評価としまして、指定管理3年目ということで、計画書に上げた事項はおおむね実行することができ、利用者数、稼働率はおおむね目標を達成した。それから、特別提案のLED化の代替案については継続して協議を行っています。あと、大型コンサートの誘致は評価できる一方で、開催のための調整など様々な課題がまだ引き続き残っております。あと、第2多目的グラウンドから発生する砂ぼこりが大きな問題となりましたけれども、若干時間がかかりましたが、これは解決したということで、総合的に判断しましてB評価となっております。

続きまして、同じく蘇我スポーツ公園で、この後また別に29年度から新たに加わった施設としまして、資料8-7をご覧ください。

公の施設の基本情報としましては、施設名称は、千葉市蘇我スポーツ公園の中の第2多目的グラウンド(南)とございます。こちらは、さきに説明した8-1の施設の中にも第2多目的グラウンド(北)というのがございまして、少年野球場合わせて6面のうち、北が2面、それが先行してオープンしてございまして、さきの評価シートに載っております。こちらの第2多目的グラウンド(南)に関しましては、ほぼ同様施設で、6面のうち4面を29年4月からオープンしたものでございます。ビジョン、ミッション等同様のものとなっております。

この部分で成果指標でございますが、利用者数、稼働率として、この時点での数値目標は掲げてございまして、利用者数3万1,000人、それから稼働率40%以上ということでございます。

次に、2番目の指定管理者の基本情報に関しては、指定管理者名等は同様ですけれども、指定期間に関しましては、オープンした平成29年4月1日から、これは終わる時期を合わせまして、平成32年3月31日までの3年間としてございます。選定方法は非公募となっております。こちらは同様施設あわせて管理するほうが効率的ということで、非公募で指定させていただいております。

3番の管理運営の成果・実績ですけれども、成果指標に係る数値目標の達成状況としましては、利用者数は、29年度実績が3万8,421人ということで、達成率123.9%となっております。稼働率は、29年度実績が22.2%ということで、数値目標に対して達成率が55.5%となっております。

次のページをご覧ください。4番の収支状況です。

必須業務収支状況としまして、まず収入です。指定管理料、利用料金収入を合わせまして、合計で1,520万8,000円となっております。こちらの計画実績の差異の大きなものは、利用料金収入の中で、これが47万8,000円の減ということで、こちらは稼働率が低かったということが原因となっております。

次に支出でございます。人件費、事務費・管理費、委託費、これの合計が1,607万4,000円となっております。こちらの計画実績の差異でございますが、事務費・管理費に関しては486万4,000円の減となっております。これは、費目を見直して、下の委託費に振りかえたということで、両方がマイナス、プラスとなっているものでございます。

次のページをご覧ください。自主事業収支状況は、これ単独での自主事業として設定してございません。さきの指定管理の北グラウンド等とあわせて行っておりますので、そちらで集約してございます。

収支状況です。必須業務の収支状況としましては86万6,000円のマイナス、全体の収支としましても同様でございます。

次のページをご覧ください。管理運営状況の評価としまして、管理運営による成果・実績でございます。利用者数ですけれども、120%以上の増加ということで、市の評価はA評価となっております。稼働率に関しましては、達成率が55.5%ということで、E評価となっております。

次に、市の施設管理経費縮減への寄与でございますが、こちらはC評価となっております。提案とほぼ同程度ということでございます。

次の管理運営の履行状況でございます。

自己評価に関しましては、おおむね提案どおりということで、Cという標準どおりということでございますが、次ページの4のその他の部分で、市内業者、あと市内雇用等の部分でB評価としてございます。

市の評価でございますが、B評価、標準を上回るという評価は、2番の施設管理能力のうち、人的組織体制の充実ということでB評価をしてございます。適正な人員配置及び専門職員の配置による業務運営が図れたということ。それから、3番の施設の効用の発揮ということで、幅広い施設利用の確保ということでB評価としてございます。この評価に関しましては、さきの8-1の蘇我スポーツ公園全体の評価と重複してございますので、同じ評価となっております。

次のページをご覧ください。利用者ニーズ・満足度の把握、こちらに関しましても、さきの8-1の蘇我スポーツ公園全体でのアンケート収集と同様のものとなっておりますので、省略させていただきます。

次の6ページをご覧ください。7の総括です。

指定管理者による自己評価としましては、C評価としております。蘇我スポーツ公園スポーツ施設に新たに供用開始した施設であって、初年度は利用率を上げるべく努力したと。その中でやっぱり稼働率の向上がなかなか望めない一方で、グラウンドの砂ぼこりの対策を行いました。次年度から外野天然芝管理、利用率の向上など課題と考えております。

市による評価もC評価としております。1年目は稼働率が低い水準となっておりますが、利用者数については目標を達成しました。30年度は、第2多目的グラウンドは南、北とも外野天然芝化となり、利用率、稼働率の増加はもちろん、大きな課題となっていた砂ぼこり解消につながることも期待されますということで、C評価、おおむね標準どおりということで評価してございます。

以上です。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の事務局からのご報告に対しましてご意見、ご質問ございましたら、委員の皆様、ご発言をお願いいたします。

谷藤委員、どうぞ。

○谷藤委員 資料8-1の4ページの、先ほども言っているのですけれども、5の(3)の自己評価と市の評価が違う点について、どのようにお考えかをお願いします。先ほどBのところだけご説明があったかと思うのですけれども。

○佐藤公園管理課長 違っている点に関しましては、いろいろ変わってきておるのですが、一つだけ自己評価Cが、市の評価が上がっているものがございますが、その他については、市もこちら辺は細かい評価点を定めまして、それを積み上げていった結果としまして、標準的と判断しておるところがございまして、自己評価に関しましては、現場が結構いろいろ課題があつて大変なものですから、課題克服に大分努力したという部分で、それでちょっと自己評価が頑張ったということで上がっている部分があると感じております。

- 石井部会長 はい、どうぞ。
- 観音寺委員 資料8-1の4ページの5、管理運営状況の評価に関してですが、利用者数も稼働率も目標未設定ということで、その中で評価されているのですけれども、例えば、利用者数というのは、111%増加したということでBにしていますが、あくまでこれは、先ほどもあったのですけれども、前年度の増加率か目標達成率かというのは違う話かなと思うのですが、ないので暫定的にこれを使っているということですか。
- 佐藤公園管理課長 そうです。
- 観音寺委員 これは設定しないで、このままとしていくのですか。
- 佐藤公園管理課長 指定期間に関しましては選定時に設定していないものですから、次回選定に関しましては設定してスタートすることになります。
- 観音寺委員 では、あと2年は設定しないということですか。
- 公園管理課職員 あと2年に関しましては、指定管理者から、このような指標で目標値とさせてほしいというような資料をいただいております。それを参考にし、市としてそれが適切かどうか判断し、目標値とさせていただきたいと思っております。
- 観音寺委員 選定時に未設定だとしても、これだけ実績が出てきていれば、目標を立てないほうがおかしいと思うので、それは立てていただければと思います。
- 佐藤公園管理課長 はい。
- 観音寺委員 それから、考え方で恐縮なのですが、稼働率というのはどういう計算方式なのでしょう。例えば、フクダ電子グラウンドを1日使ったお客さんがいて、それが100日あったので365で割って何%と出しているのか、また違うのか、その辺はどうなっていますか。
- 公園管理課職員 施設によって稼働率の出し方というのが若干異なっております。フクダ電子アリーナに関しましては、休場日等、あと芝生養生期間等があり、1日に利用可能なのが1団体ですので、それは日数で稼働率を出してございます。  
ほかのもの、スクエア、フィールド、グラウンドに関しましては、利用時間数に対しての稼働時間ということで割合を出してございます。
- 観音寺委員 稼働時間割る利用時間ですか。
- 佐藤公園管理課長 利用可能時間に対しての利用時間。
- 公園管理課職員 資料8-13の2番の稼働率実績のところはその理由等が書かれておりますので、ご参考にさせていただきたいと思っております。
- 観音寺委員 資料8-7の1ページにある南グラウンドの稼働率22.2%で、利用者数は3万8,000人で、ここにちょっと違和感を感じております。稼働率に関する達成率が半分でしたと、なのに利用者数に関する達成率は123%と、市の基準でいくと大幅に増加という位置付けになると思うのですが、これは目標数、成果指標の設定がややおかしくないのかなと。これが倍の40%稼働率達成したら、この倍にはならないにしても、相当利用者数が増えるということになりませんか。利用者数と稼働率って、多分これはリンクしていく話だと思うので、片一方が大幅に未達なのに片一方は達成しているというのが、そもそも設定が違う、おかしいのではないかなと感じます。
- 佐藤公園管理課長 これに関しましては、北グラウンドが先行してオープンしてございますので、その状況を見た上で設定したところ、ちょっと状況が違ってたと。1回の利用者数が想定をかなり上回ったということがございますので、この点に関しても課題とさせていただきたいと思っております。
- 観音寺委員 はい。

- 石井部会長 今回の点についていえば、資料8-13の3の利用者数及び稼働率目標値というところで、今の第2多目的グラウンド（南）は、フクダ電子グラウンド（南）という部分ですよ。
- 佐藤公園管理課長 はい。
- 石井部会長 そうすると、そこで利用者数が1万6,936人となっていて、稼働率22%となっているのですが、それと先ほどの資料8-7の5の（1）のところの利用者数が3万8,421で稼働率22.2というのが違うのが、何かどういうことかわかりますか。目標値と書いてあるから実数じゃないんだよとなるのか、ただ、実数じゃないのに細かく1万6,936人とまで出ているのがちょっと疑問、不思議に思ったのですけれども。
- 公園管理課職員 こちらの資料は指定管理者から出された資料でして、グラウンド（南）に関しましては選定時の値を採用するというようになっております。ですので、参考値として見ていただければと思います。
- 石井部会長 この3は、あくまでも目標値で、実数ではないということなんですね。
- 公園管理課職員 はい。
- 石井部会長 稼働率が22.2%なのに、利用者数としては3万8,000人を達成できているというところの原因について、何かわかるところはありますでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 5月のゴールデンウィークの3日間でJAPAN JAMという音楽イベントをやるのですけれども、こちらは3日間で、施設は分散して入ってくるんですが、その中での人数をこの部分にカウントしてということで、先ほど1件当たりの人数が想定外だったという説明をしたんですけれども、この中で2万5,000人ほどの入りがございましたので、その部分をカウントして、大幅に上がっております。これは29年度から始まったイベントですので、設定時はまだ未定だったということで。
- 石井部会長 野球場などのグラウンドとしての利用者数はそれほどでもないものの、大型のイベントがあって、そこで入ってきた人が利用者数の中に含まれているので、数は非常に多くなって達成しているということですか。
- 佐藤公園管理課長 はい。
- 石井部会長 わかりました。ありがとうございました。
- 石橋緑政課長 資料8-12の5ページ、ここに5月2万5,700と、これが年度のお客様がすごすぎたというところで、そういうのがかなりあります。
- 石井部会長 そうすると、その点をわかりやすくするためには、利用者数も、イベントと通常のグラウンド利用とを分けて考えて、稼働率も分けたほうがより実態は把握しやすいのかなという気がします。善積委員、すみませんでした。
- 善積委員 稼働率ですが、資料8-1の1ページの下のところに平成29年度の実績がパーセンテージで出ています。他方、資料8-13、これは指定管理者が作成した資料であると思います。例えば、その2ページ目のフクダ電子アリーナのところですが、資料8-1では38.5%となっているのですけれども、資料8-13には、それに対応する数字が見当たりません。どういう計算をされて38.5%になっているのかがよくわからなかったです。なお、フクダ電子ヒルスコートについては65%となっており、この数字は資料8-1の65%と一致しています。このように、資料8-1と資料8-13に示されている稼働率実績の関係がよくわかりませんでした。
- 佐藤公園管理課長 ちょっと確認させていただきます。
- 善積委員 それからも一つよろしいでしょうか。資料8-1の4ページの自己評価と市の評価ですが、自己評価の部分は、評価内容のA、B、C、D、Eという点線で囲ってあ

るところに当てはめて指定管理者が評価している。一方、市のほうは、評価の目安という厳密な方式によって当てはめて評価している。そもそも共通の基準によって評価されているわけではないので、違いが出てくるのは仕方がないという、そういう理解でよろしいですか。

○佐藤公園管理課長 はい。

○善積委員 わかりました。ありがとうございました。

○石井部会長 では、私から幾つか質問させてください。

質問とあと意見になるところもあるのですが、資料8-1の2ページ、3ページ等の状況についての報告のところで、参考として28年度と載っていて、あと29年度だけなんですけれども、これが27年度どうだったとか、その前がどうだったとかというのが、このシートではなくてもいいので、ほかのところでも何かわかるようになれば、前はこうだったけれども、この管理者にかわってこうなった、この管理者になってからの中でも年度でこうなってきたというのが把握できるので、ありがたいかなと思いました。

それから、5ページの6の利用者ニーズ・満足度の把握というところで、フクダ電子アリーナについてですが、その利用者というところで、一番は、ジェフの利用者ですよ。そのジェフからの意見というのが、この中にはちょっとわからなかったのですが、ジェフにも当然聞いているとは思いますが、そこで何か上がってきている意見というのはあるのでしょうか。

○公園管理課職員 ジェフさんからは、個別に施設に対してのご意見というものをいただいております。フクダ電子アリーナですと、大型スクリーン、オーロラビジョンですとか、そういうような設備面での充実等々のご要望はいただいております。

○石井部会長 実質、そういったことについての資料は今回のこの中にはないですよ。

○公園管理課職員 つけていません。

○石井部会長 それと、選定したときにもジェフからもいろいろあったのですけれども、芝については、今、意見ではどんなことが上がっているのでしょうか。ジェフから芝をこうしてほしい、こうしたいんだという意見が選定時にもあったかと思いますが、それについて状況がどうなっているのか。まだ意見、芝がどうだというのが出ているのか、それともよくなってきているというふうな話が出ているのか。芝についてもこの指定管理者が管理されているわけですよ。

○佐藤公園管理課長 そうです。

○石井部会長 そこのところというのがどうなのかなというのが気になったのですけれども、わかりますでしょうか。

○佐藤公園管理課長 芝生に関しましては幾つか要望がありまして、日陰等が多い球場ですので、芝の生育が部分的に悪かったりとか、それから、全般的にちょっとグラウンドがかたいということで、これらに関しましては、芝生の張りかえを部分部分で行って改善し、また、グラウンドがかたいということに関しましては、エアレーションといたしまして、少しほぐすような作業をしまして、若干改善は見られましたけれども、やはりジェフの練習場のほうが別の管理者が管理しておりまして、こちらはかなりやわらかい状況で管理してございます。標準から見てもかなりやわらかい状況なものですから、練習場と試合場との差というのがなかなか埋まらない中で、今回、今年度の冬に全面張りかえを行います、そうしますと、土の部分から土壌改良剤を入れたりとか、ほぐしたりして、また張り直しとなりますので、その点で大きく芝生の生育状況も含めて改善していくものと考えています。

○石井部会長 その芝生の張りかえは千葉市が行うということですか。

- 佐藤公園管理課長 千葉市が行います。
- 石井部会長 それから、アンケートの中で、フクダ電子スクエアの人工芝についてということで、以前見たときも、波打っている部分があったりとかという気はしたんですが、この人工芝っていつから使われているものなののでしょうか。開業から張りかえていないというものなののでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 そうですね、こちらはまだ張りかえてございません。
- 石井部会長 そうすると何年ぐらいたっているものですか。
- 佐藤公園管理課長 ちょうど 10 年たちます。予定としましては 31 年度、32 年度の中で張りかえることを計画として持っております。
- 石井部会長 管理事務所の狭さに対する意見ということがあるのですが、管理事務所の中で更衣室とかロッカーとかあるかと思いますが、今そういったのができる部分というのは、フクダ電子スクエアのところに附属しているものと、あとはテニスコート利用者のヒルスコートの部分の 2 つだけでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 はい。
- 石井部会長 そうすると、グラウンドの利用する範囲はどんどん増えていって、利用者も増えていく中で、当初のオープンのときから変わっていないということになると、やはり手狭だとは思われるのですが、これは指定管理者がどうこうできる部分ではなくて、市として施設をどうするかという部分になってくるのでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 全体計画としましては、まだ未整備区域に 1 か所そのような施設を造る予定でございまして、この時期と、あと内容について、こちらは UR の施工になっておりますので、そちらと今協議しております。
- 石井部会長 freeWi-Fi に関する要望が増加しているとあります。これは先ほどマリスタジアムのときも聞き忘れてしまったのですけれども、今、マリスタジアム、それからフクダ電子アリーナやフクダ電子スクエア等で設備としてはあるのでしょうか、それともまだないのでしょうか。
- 公園管理課職員 蘇我スポーツ公園についてはございません。
- 石井部会長 マリスタジアムもないですか。
- 公園管理課職員 freeWi-Fi はございません。
- 石井部会長 今後導入する予定等はあるのでしょうか。あと、もし導入するとしたら、やはりそれは千葉市がやることになるのか、指定管理者にこういう要望も出ているからやってくれないかという形でできるものなのか。
- 佐藤公園管理課長 マリスタジアムに関しては、しばらく前からそういう話がありまして、市とロッテ、どちらでやるかということで今協議中のところがございます。
- 石井部会長 蘇我スポーツ公園についてはいかがでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 今後協議していく形になろうかと思えます。
- 石井部会長 6 ページの市による評価の中で、特別提案の LED 化の代替案については継続して協議を行っているとありました。これはどういうことなのかご説明をいただけますでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 選定時の提案として、フクダ電子アリーナの照明の LED 化ということで提案を受けたのですけれども、その後、実際にきちんと見積もりをとって試算した中で、かなり金額的にも難しいということになりました。ただ、それにかわるものを何か代替としてやっていただきたいということでなっている中で、いろいろ老朽化している施設もございまして、その修繕等である一定の金額を負担していただくということで、今

協議を進めております。

- 石井部会長 確かその選定をした際も、特別提案、LED化すると電気代が安くなる、そうするとというような話があったことも一つの理由であったかとは思いますが、それについて予定どおりいなくなりましたので、いなくなっただけでは困るから、代わりにどうこうしてくださいと、そういう協議をしているということですか。
- 佐藤公園管理課長 はい。
- 石井部会長 わかりました。

昨年度も出ていたかと思うのですが、フクダ電子グラウンドのマウンド、少年野球の設置の話ですけれども、要望があるということに対して、現在どういう検討状況になっているのか教えていただけますでしょうか。
- 公園管理課職員 それについては、その後も継続して協議をさせていただいております。加えて、今回、外野が天然芝化になったことによって、利用者等の動向も今後注視していく必要があると思っておりますので、その中で設置管理、そして設置場所等を含め、今後どのようにということを協議していきたいと思っております。
- 佐藤公園管理課長 もとのグラウンドの利用率、稼働率がかなり低いものですから、少年野球ということに限定して利用者を絞ってしまいますと、稼働率がどうしても低いままです。少し多目的に使えるようにという意見もございます。その中で、やっぱりマウンドが、それにまた障害となってしまうといけませんので、そういう点をちょっと考慮しながら検討しております。
- 石井部会長 その点についての質問で、グラウンドの実際に利用しているスポーツの割合を考えると、その点はどのようなのでしょうか。ソフトボール等もやるためにマウンドを設けていないという話を以前伺ったのですけれども、ソフトボールでの利用率がどのくらいなのか、野球での利用率がどのくらいなのか、そのほかのサッカー等の利用率がどのくらいなのか、そういうところも把握はされているのでしょうか。
- 公園管理課職員 資料8-12の事業報告書添付資料の15ページ、こちらの下にカテゴリ別構成比というものがございます。この中で、きちんとソフトボール、軟式野球等の区分けはできておりませんが、大体の利用者の差によって、何で利用されているのかという区分けはできるかと思えます。
- 佐藤公園管理課長 野球が圧倒的に多くて、その他のスポーツでは余り使われていないという状況です。
- 石井部会長 そうだとすると、全部にマウンドをつけてしまうと問題はあるのでしょうかけれども、半分とか一部にあってもいいのかなという気もするところですが、そこは意見に当たる部分ですけれども。

それから、稼働率を指標としている部分もありますが、稼働率の中で、土日、祝日、いわゆる休日と、それから平日と分けて考えたりはしているのでしょうか。それとも、先ほどご指摘のあった資料8-13の稼働率実績のところ、2のところ稼働率の出し方ということで計算されていますけれども、単純に平日も休日も一緒にした利用時間、利用可能時間だけしか統計としてとられていないのか。
- 佐藤公園管理課長 データとしては、ここは土日を含めることもできますので、存在する形になります。それで、稼働率の低いグラウンド北・南に関しましては、圧倒的に土日の利用がほとんどでして、平日はほとんど利用されないという状況で把握しております。
- 石井部会長 そうであれば、そのことも数字としてわかるようにしていただいたほうが、稼働率の目標は達成できていないんだ、全体としては達成できていないけれども土日は埋

まっているよと、平日が空いているから、そこをどうするべきか考えたほうがいいんじゃないかとか、そういった意見等も出しやすくなると思いますので、ちょっと大変になるかもしれないですけども、そういった資料を今後ご準備いただければなと思いました。

すみません、ちょっと私が長々と質問等してしまいましたが、委員の皆様、観音寺委員どうぞ。

○観音寺委員 資料8-6の131ページ、添付資料で自主事業に対する取組みというのがありますが、4の熱中症対策ということで、熱中症につきましても、マウンドと同様に去年からずっと話に出ていたと思うのですが、スクエアに関しては、フィールド横に足を立てない状態でテントの骨組みを置いて、利用者が使えるようにしたというところですが、スクエア以外は特にされていないということでしょうか。

○公園管理課職員 それ以外のところに関しては、別建てで有料の貸し出しテントを用意して対応しております。

○観音寺委員 了解しました。

次に、資料8-12の事業報告書の中の後半の4ページの警備・救急事案報告書で、私も知らなかったのですけれども、10月19日に爆破予告があったという資料があるのですが、これは避難など、そのあたりはどんな感じだったのでしょうか。

○公園管理課職員 これは、毎年開催されていますJFE祭りに対しての爆破予告がございました。これは主催者さん側のJFEさんが警備の関係上開催は無理と判断されまして、イベント自体が中止となっております。当日は開催はされていないのですけれども、爆破予告等があったということは、施設利用者等々に事前に連絡をした上で、警備体制も強化したというふうに報告を受けております。

○観音寺委員 了解しました。ありがとうございます。

○石井部会長 そのほかにご質問等ございますでしょうか。どうぞ。

○善積委員 資料8-7の3ページの自主事業のところを見ていて、収入とか支出が全てゼロになっているので、自主事業が行われていなかったのかなと思いましたが、資料8-12の自己評価のところでは自主事業は良好となっていました。これは先ほどのイベントの企画とか運営にかかわっているということで、金額的にはゼロであったけれどもという、そういう意味ですか。

○佐藤公園管理課長 実は、資料8-1の蘇我スポーツ公園全体のほうで、グラウンド（北）というのが2面ございまして、さきにオープンしてございます。こちらは昨年度オープンしたんですけれども、自主事業に関しましては6面全体での計算をしておりますので、別の北のほうでの数字に含めておりますので、そういうことで、こちらではゼロというふうになっております。

○善積委員 ありがとうございます。

○石井部会長 そのほかご質問はありますか。

ありがとうございました。

それでは、1、公の施設の基本情報から7、総括（2）市による評価については、以上で終わります。

続きまして、7、総括（3）都市局指定管理者選定評価委員会の意見についてですが、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見または助言など、委員の皆様からお願いいたします。

谷藤委員、お願いいたします。

○谷藤委員 全部集合体とはいえ、幾つかの施設を一括管理しているということで、共通の



イベントができたということももちろんあると思うんですけども、アンケートも全部ひとくくりではなくて、やはりそれぞれの施設でどういうふう感じたかということや、ぜひ酌み取っていただいて、ざっくり全体ではいいけれども、細かいところでは、この施設はちょっとということがないようお願いしたいなと思いました。

- 石井部会長 蒔田委員、いかがでしょうか。
- 蒔田委員 ここはスポーツ施設ですので、例えば資料8-1の利用者ニーズの中にもありますように、スポーツをやった後、汗をかいたまま帰れという施設になっているような印象を受けるんです。これは、シャワーを使える場所が小さな場所2か所しかない。やはりスポーツ施設ですので、アリーナ内にもシャワールームしかりと、それから屋外の施設利用者に対しても、例えば、第2多目的グラウンドの北と南、芝を張るんですか、ここ。
- 佐藤公園管理課長 もう芝を張って、8月1日からオープンということでございます。
- 蒔田委員 やっぱりほこりの問題で、芝を張らざるを得なかったと。張ったとしても、やっぱり汗をかきますので、フクダ電子スクエアの建物を増築してシャワーをつけるとか、ヒルスコート側のシャワールームを少し大きくしてもらうとか、そういうふうにして、ちゃんとシャワー設備があるぞということをやっていただきたい。  
それから、フクダ電子アリーナ、野球場のほうはマリーンズというのはすぐぱっと結びつくんですけども、アリーナのほう、ジェフときちっと結びつけるという、もう少し強い宣伝をやったほうがいいのかと思います。要するにホームグラウンドですと、コマースでそんなことをやれば人が集まるのかなと。野球も千葉少年野球がメインですよ。ソフトボールのメインのところとか、テニスだとかというふうなところと契約できればいいのかな。以上です。
- 石井部会長 意見ではなくて質問なんですけれども、今、シャワーの話が出たので、フクダ電子アリーナの中には立派なシャワー設備あると思います。ほかの電子グラウンドやスクエアを利用した人がフクダ電子アリーナのシャワー設備だけを使うのは、可能なのでしょうか。それとも警備の問題や費用の問題があって難しいのでしょうか。
- 公園管理課職員 有料施設になっておりますので、申し込んでいただいて、空きがあれば利用は可能となっております。
- 蒔田委員 そこが問題なんです。スポーツを終わったら、すぐグラウンドのそばでシャワーを浴びたいというのはやはり人情だと思うんですよ。だから、自由に使えるようなシャワールームあるいはシャワー設備、これを屋外にでも準備していただいたほうがいいのかなと思うんですよ。
- 石井部会長 そのフクダ電子アリーナのシャワー設備の利用は、ロッカールームの部屋を一つ借りるという形の利用なのですか。
- 公園管理課職員 シャワー室での利用の枠がございます。
- 石井部会長 例えば、一人でそこを借りようとしたら、割に合わないような金額になっているのですか。
- 公園管理課職員 そうなってしまうと思います。
- 石井部会長 何千円というような単位で、何百円ではなくて。
- 公園管理課職員 はい。
- 石井部会長 わかりました。  
観音寺委員、ご意見、よろしくお願ひします。
- 観音寺委員 引き続き、現状のお客様のニーズを踏まえた対応をしていくというのが当然になりますが、先ほど部会長からあったとおり、数値なんかは、土日と平日で大分違うと

いう話の中で、今後それを、例えば 40%を本当に目指すのかという話で、平日がらがらですと、ただ、平日はなかなかグラウンドを使う人がいないというのは想定される話で、稼働率を上げるには平日の利用を増やすしかないと思うのですが、それに果たしてどこまで力を割いていくのかという話は、指定管理者だけではなくて千葉市のほうも、そこまで一生懸命上げる必要はないのではないかという話であれば、目標 40%というのは違うと思いますし、逆に休日にもっと稼働率を上げるとか、違った形のアプローチというのが必要になるのではないかなという気がします。

また、施設毎の稼働率を見ても、60%超えのものもあれば、20%だとか 30%というものもありますので、これについては、谷藤委員が言ったように、施設毎、曜日毎の対策、アプローチを検討されたほうが、ぱっと見ても、いいのか悪いのかというのがよくわからないというのが実態という気がしますので、ご検討をお願い申し上げておきます。

○石井部会長 善積委員、いかがでしょうか。

○善積委員 皆様の今の意見と同じでして、全般的にすぐれた管理運営がなされているように感じておりますので、あとは、さらに利用者のニーズを酌んで稼働率を高めていく、その方策をより検討していかれたらいいのかなという意見です。

○石井部会長 ありがとうございます。では、私の意見も少し述べさせていただきます。

この蘇我スポーツ公園スポーツ施設は、フクダ電子アリーナとそれ以外というところで、2つの側面があるのかなと。フクダ電子アリーナはジェフが使うプロの興業をやる場所であるということもありますし、電子アリーナについては、プロが使う以外に一般の方も使うので、2つの側面を持っているとは思いますが、それとそれ以外の場所というところでは、ちょっと性質が違うところもあると思うので、それを一緒に管理している部分、大変な面もあるとは思いますが、プロが使う部分を管理するんだということに対する取り組み方と一般の人に向けての部分とで、そこをよく意識して、プロに向けてもきちんとした対応をしてもらい必要もあるのかなというような気がしました。

そういう意味で、評価シートとか報告等についても、ジェフが興業で使う、ジェフ以外もそうですけれども、興業で使っている場面と、それ以外の一般の利用者が使っている場面とで、もうちょっとわかりやすく工夫ができればいいなというような気もしたところです。

7、総括（3）都市局指定管理者選定評価委員会の意見ですけれども、これまでいただいた委員の皆様からの意見も含めて部会の意見としたいと思います。

最後に、資料8-14 から8-19 までの指定管理者財務諸表から見る当該指定管理者の財務状況についてですが、善積委員、何かご意見、ご質問等ございませうでしょうか。

○善積委員 それでは、3社の財務諸表を見て感じたところを述べさせていただきます。

まず千葉マリスタジアム社です。資料8-14 と8-15 をご覧ください。貸借対照表に純資産の部がありますが、その繰越利益剰余金がマイナスになっています。そこが気になるところですが、平成 29 年度は前年度に比べて業績が改善されていますので、その結果、繰越利益剰余金のマイナス幅は縮小しています。

また、今年度の売上高は前年度に比べて減少していますが、コストの削減を積極的にやられたのか、結果として、利益が増加して収益性が改善されています。

次に東洋グリーン社です。資料8-16 と8-17 をご覧ください。平成 29 年度は、前年度に比べて負債総額が減少し、純資産額が増加しており、財務内容は改善されていると思います。ただ、業績に関しては、平成 29 年度の損益計算書における売上高は前年度に比べて増加していますが、コストもそれ以上に増加していることから、結果として各種の利

益の金額が減少しているという、そういう内容になっています。

最後に日本メックス社です。差しかえの最新の財務諸表が配付されておりますけれども、平成 29 年度の財務諸表によると、前年度に比べて、自己資本比率で見る財務内容は悪化していますが、日本メックス社は、自己資本比率が高い企業なので、下がったからといってそれが問題であるとは必ずしもいえないと思います。下がった主な原因は、自己株式の保有額が増加し株主資本額が減少しているということのようです。また、損益計算書における売上高は増加していますが、コストがそれ以上に増加したことによって、営業利益とか経常利益といった各種の利益は減少しています。けれども、例えば、資本利益率で見ると、総資産とか純資産が圧縮されていることもあって、収益性が改善されていると考えることもできるという、そういう状況でした。

このように三社三様で、それぞれ対前年度で改善・悪化の状況が見られますが、提出された財務諸表から判断する限り、各社とも財務内容、業績とも、特に問題のある状況ではないと思われます。以上です。

○石井部会長 ありがとうございます。

特に委員の皆様、今の点についてのご質問等はございませんでしょうか。

では、以上で議題（2）蘇我スポーツ公園スポーツ施設の年度評価を終わります。

本日の議事は全て終了いたしましたので、これをもちまして、平成 30 年度第 1 回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を閉会いたします。

事務局にお返しいたします。

○石橋緑政課長 本日は、長時間にわたるご審議いただきまして誠にありがとうございました。また、たくさんのご意見、ご提案も頂戴しました。

今後も、施設の管理運営につきましては、このような頂戴いたしましたご意見を踏まえまして、より適切な運営と改善に努めて参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○福原都市総務課長補佐 それでは、本日は以上になります。長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。